



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマシナ

コード番号 5955 URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 森嶋 誠一

TEL 075-591-2131

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,552	△5.5	112	85.2	129	83.1	107	98.1
25年3月期第2四半期	2,700	7.5	60	54.5	70	66.5	54	49.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 104百万円 (99.1%) 25年3月期第2四半期 52百万円 (127.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.78	—
25年3月期第2四半期	0.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
26年3月期第2四半期	11,625		8,950		77.0
25年3月期	11,749		8,985		76.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,950百万円 25年3月期 8,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	△0.9	210	32.0	230	28.6	200	32.2	1.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	143,611,765 株	25年3月期	143,611,765 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,461,405 株	25年3月期	4,461,405 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	139,150,360 株	25年3月期2Q	139,150,369 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期包括利益計算書	8
(3) 継続企業に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による各種政策効果の発現等の影響により、企業の設備投資や雇用情勢の持ち直しおよび堅調な個人消費等により景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外経済の下振れや税制改正による需要の先食い等、依然として不確実性を有しております。

このような状況のもと、当社グループでは、主要取引先である自動車業界のエコカー補助金による需要の反動減や国内生産の減少等の影響により受注獲得こそ苦戦したものの、カイゼン活動の推進や徹底したコスト削減により、利益は当初想定を大きく上回り堅調に推移いたしました。

当第2四半期の連結業績は、売上高は2,552百万円（前年同四半期比5.5%減）、営業利益は112百万円（前年同四半期比85.2%増）、経常利益は129百万円（前年同四半期比83.1%増）、四半期純利益は107百万円（前年同四半期比98.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

主要取引先である自動車業界において円高是正の恩恵はあったものの、エコカー補助金による需要の先食いや海外生産へのシフトによる国内生産の減少の影響を受け受注獲得は苦戦いたしました。しかし、カイゼン活動の推進やキャパシティコストの削減により、利益は当初想定を大きく上回り堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は1,607百万円（前年同四半期比4.5%減）、営業利益は138百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

(電線・ケーブル事業)

電線・ケーブル事業においては、依然として主力製品であるハーネスや組立装置の受注が伸び悩み、コスト削減を徹底したものの相対的に低調に推移いたしました。

その結果、売上高は828百万円（前年同四半期比8.2%減）、営業利益は21百万円（前年同四半期比70.0%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、既存物件の稼働率につき一定の水準を確保しており、顧客の離反率が低下した事によりメンテナンスコスト等も削減できたため、相対的に順調に推移いたしました。

その結果、売上高は114百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は58百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

(その他)

その他事業は主として投資事業から構成されておりますが、安全性の高い資産に投資対象を限定することにより運用リスクを低減させ、一定の投資枠の範囲内で資金を運用しております。

その結果、売上高は1百万円（前年同四半期比64.1%減）、営業損失は1百万円（前第2四半期連結累計期間は営業利益1百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し、4,999百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金31百万円が増加したものの現金及び預金98百万円、たな卸資産72百万円がそれぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、6,626百万円となりました。これは、投資有価証券が117百万円が増加したこと及び建物及び構築物19百万円、リース資産22百万円がそれぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、1,017百万円となりました。これは、賞与引当金29百万円が増加したこと及び借入金8百万円が減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、1,657百万円となりました。これは、長期借入金が69百万円、リース債務23百万円がそれぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、8,950百万円となりました。これは、利益剰余金が107百万円増加したものの資本剰余金を原資とする配当金139百万円が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現場改善による生産効率の向上やコスト削減の徹底等が利益面に貢献し、業績が好調に推移したことから、平成25年5月9日に公表いたしました平成26年3月期通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成25年11月6日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,557,232	2,459,039
受取手形及び売掛金	1,577,774	1,608,807
商品及び製品	445,223	359,791
仕掛品	128,537	136,024
原材料及び貯蔵品	350,121	355,727
その他	119,654	80,474
貸倒引当金	△864	△863
流動資産合計	5,177,678	4,999,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,311,528	1,292,287
土地	4,430,861	4,430,861
その他(純額)	575,394	545,658
有形固定資産合計	6,317,784	6,268,808
無形固定資産		
その他	59,239	43,645
無形固定資産合計	59,239	43,645
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,151,475	1,151,475
その他	244,512	357,859
貸倒引当金	△1,201,475	△1,195,239
投資その他の資産合計	194,512	314,096
固定資産合計	6,571,537	6,626,550
資産合計	11,749,215	11,625,551
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	385,083	392,289
短期借入金	382,896	374,596
未払法人税等	21,131	12,611
賞与引当金	9,975	39,786
環境対策引当金	2,479	1,859
その他	209,744	196,460
流動負債合計	1,011,311	1,017,603
固定負債		
長期借入金	274,051	204,253
退職給付引当金	339,184	338,483
環境対策引当金	29,176	28,556
その他	1,109,987	1,086,127
固定負債合計	1,752,399	1,657,419
負債合計	2,763,711	2,675,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,900,400	90,000
資本剰余金	2,882,058	6,553,308
利益剰余金	928,016	1,035,989
自己株式	△131,719	△131,719
株主資本合計	7,578,755	7,547,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	△3,677
土地再評価差額金	1,406,627	1,406,627
その他の包括利益累計額合計	1,406,748	1,402,949
純資産合計	8,985,504	8,950,528
負債純資産合計	11,749,215	11,625,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,700,117	2,552,171
売上原価	2,219,354	2,067,975
売上総利益	480,762	484,196
販売費及び一般管理費	419,894	371,470
営業利益	60,868	112,725
営業外収益		
受取利息	1,803	1,728
受取配当金	183	7,364
受取手数料	7,092	—
貸倒引当金戻入額	—	6,236
その他	12,265	11,482
営業外収益合計	21,344	26,811
営業外費用		
支払利息	8,560	6,630
その他	3,155	3,825
営業外費用合計	11,716	10,455
経常利益	70,496	129,081
特別利益		
固定資産売却益	59	—
保険解約返戻金	—	1,249
特別利益合計	59	1,249
特別損失		
固定資産売却損	595	782
固定資産除却損	1,598	6,147
営業所閉鎖損失	2,100	—
特別損失合計	4,294	6,929
税金等調整前四半期純利益	66,261	123,401
法人税、住民税及び事業税	11,763	15,427
法人税等合計	11,763	15,427
少数株主損益調整前四半期純利益	54,497	107,973
四半期純利益	54,497	107,973

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	54,497	107,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,186	△3,798
その他の包括利益合計	△2,186	△3,798
四半期包括利益	52,311	104,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,311	104,174
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年6月24日開催の定時株主総会において、今後の柔軟かつ機動的な株主還元策および資本政策等を実施できる体制の確保を目的とする無償減資について決議し、平成25年7月26日付で無償減資を実施いたしました。この結果、資本金が3,810,400千円減少し、資本剰余金が同額増加したため、当第2四半期連結会計期間末において資本金が90,000千円、資本剰余金が6,553,308千円となっております。